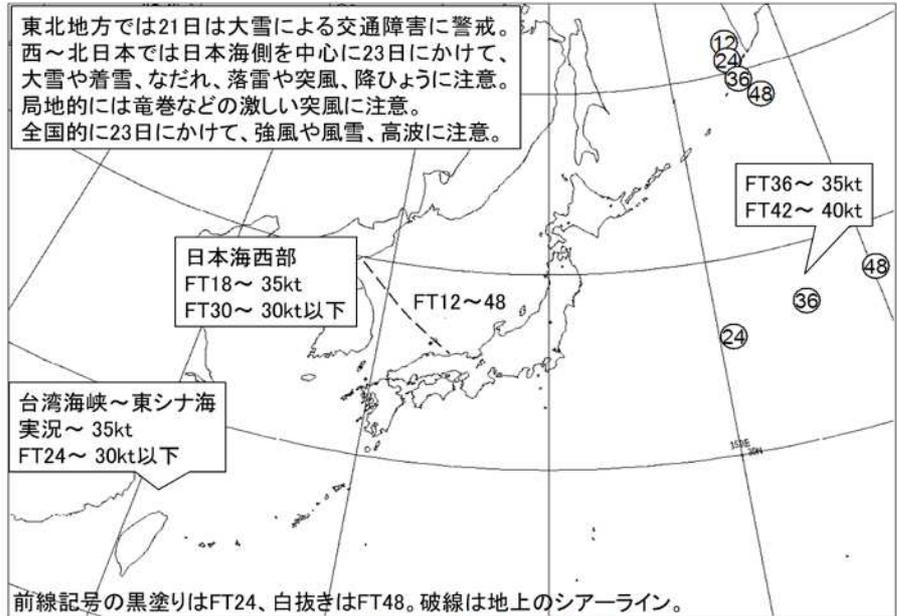


1. 実況上の着目点

- ① 日本付近は冬型の気圧配置が続いている。西～北日本の日本海側を中心に降雪となっており、3時間に5～10cmを観測。日本海寒帯気団収束帯（JPCZ）が中国地方日本海側を指向。また、メソ低気圧が東北地方を通過中。本州日本海側では雷を検知。
- ② 500hPaのトラフが沿海州付近・中国東北区付近・華北付近にあって、南東進。
- ③ 南西諸島では下層風が収束し地上の気圧の谷となっており、海上では1時間に10mm以上の雨を解析。



主要じょう乱解説図

- ④ 冬型の気圧配置の影響で気圧の傾きが大きくなっており、全国的にやや強い風が吹き、波が高くなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 日本付近は23日にかけて冬型の気圧配置が続き、西～北日本は850hPa-9～-15℃の寒気に覆われる。1項①のメソ低気圧は21日夜にかけて東北地方を不明瞭になりつつ東進する。また、1項②のトラフは22日の日中に西～北日本を通過。500hPa-39℃以下の強い寒気が東日本まで南下する。このため、降雪が強まり大雪となる所がある。東北地方では21日は、大雪による交通障害に警戒。西～北日本では23日にかけて、大雪や着雪、なだれに注意。また、1項①のJPCZは、23日にかけて中国地方～近畿地方日本海側を指向し、JPCZ上に発生するメソ低気圧が22日朝には北陸地方に進む。JPCZやメソ低気圧周辺及び下層風が収束する所では、雪雲が発達し警報級の降雪となるおそれがあるので留意。
- ② 2項①のJPCZやメソ低気圧周辺では、大気の状態が非常に不安定となる所がある。西～北日本の日本海側を中心に23日にかけて、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 冬型の気圧配置の影響で、気圧の傾きの大きい状態が続き、雪を伴った強い風が吹き、波が高くしけとなる所がある。全国的に23日にかけて、強風や風雪、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量子想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量（18時からの24時間）：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量（18時からの24時間）：東北・北陸60、近畿50、北海道・中国40、東海30cm。
- ③ 波浪（明日まで）：伊豆諸島・中国・沖縄4、北海道・東北・北陸・近畿・九州北部3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。